

開 会 挨拶

愛知大学人文社会学研究所運営委員 小野 賢一

皆さま、この度は、愛知大学人文社会学研究所シンポジウム「国際的民間交流と平和運動の歴史とアクチュアリティ——青い目の人形と答礼人形の辿った歴史から——」にお集まりいただき、ありがとうございます。今日は、当研究所所長の伊東利勝（文学部教授）が出張中ですので、代理で私小野が挨拶をさせていただきます。

愛知大学人文社会学研究所は、出来てから2年目（2016年度現在）の若い研究所です。機関誌『文學論叢』の刊行のほか、シンポジウムやワークショップの企画を活動の柱の一つにはしておりますが、まだまだ経験不足で、本年度、このような企画をするのは初めてです。これだけの方が来られて、私も驚いております。本年度はシンポジウム等の企画を年間4回行う予定でおりますので、そちらの方もどうぞよろしく申し上げます。

今日は天候が悪く、（冗談ですが）私も来るのが嫌なぐらいでした。本当に「皆さん来てくれるのかな」と思いましたが、大変に足元の悪い中、大勢の方がご来場下さり、ありがとうございます。どうぞ、今後とも研究所の方によりしくご厚情賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

